

旧島田家住宅に彩りを添えているのが「歳時記」と呼ばれる年中行事の展示です。春は「ひな人形」夏は「七夕飾り」など、季節ごとに表情を変えます。

8月4日(日)に旧暦の七夕に合わせて行われた「ジュニア三富塾」では、参加した16人の親子が七夕飾りを作りました。短冊を前に「何書こうかなー」と思いを巡らす子どもたち。丁寧に書き上げた短冊に願いを込めて結び付けます。飾りつけが終わり、笹を立てると、古民家の屋根より高くそびえたつ姿に大きな歓声が起こりました。

食と歴史が交わる場

旧島田家住宅は25年前に歴史的建造物として町指定文化財に指定されていますが、地元農家の新鮮な野菜などを販売する「カミトメマルシェ」や、約850人が訪れる「世界一のいも掘りまつり」の開会式の会場として幅広く活用されています。これら二つの行事に共通するのは「食」。三芳で大切に育てられた恵みをおいしくいただくイベントです。

伴完が説いた教えの一つ「寺子屋」で受け継がれています。

一番身近な先生

「現代の寺子屋」として学びの場を提供している旧島田家住宅では今も学びの息吹を感じることが出来ます。そこには時を超え「一番身近な先生」として活躍する「三富塾活動ボランティアの会」の皆さんがいます。町内外の15人が所属し「ジュニア三富塾」をはじめとした郷土学習イベントの企画・運営や「世界一のいも掘りまつり」のガイドを行い「一番身近な先生」として郷土の文化を伝えていきます。「参加した人に楽しんでもらって、何か一つでも三芳の魅力をもち帰ってくればいいなと思います」と笑顔で話す副会長の山形照代さん。三芳を愛する先生たちが学びの輪を広げていきます。

行って、民家。

旧島田家住宅は、江戸時代から現在まで、そこに携わってきた人々の想いがつながる場所。三芳町の秋の味覚を探しながら、ふらっと「行って民家」と足を運んでみてはいかがでしょう。



①



2



3



4

5

6

①毎年設置されるさつまいもの苗床。昔ながらの方法でさつまいもの苗を栽培しています。②カミトメマルシェの古民家ライブに出演した「三芳ウインドオーケストラ」の皆さん。③昔のおもちゃで遊ぶ子どもたち。④三芳産のそばを打って古民家で食べました。⑤子どもたちと楽しく活動する三富塾活動ボランティアの会。⑥ボランティア会員の手作り工芸品。住宅内で販売中。⑦「三富塾活動ボランティアの会」の皆さん。多くの人に郷土学習の輪を広げています。



⑦

～動画でいつも、民家。～



旧島田家住宅の魅力を詰め込んだ動画を YouTube で公開しています。いつでもどこでもアクセスして、動画で、民家。

https://youtu.be/_fl5JgQZWBI



旧島田家住宅 (上富 1279-3) 電話: 258-0220
開館時間: 9:00～16:00
(月曜日・祝日・12/28～1/5 除く)

三芳の伝統を学べる場

町外に住んでいますが、三芳町のイベントに参加し、三芳の歴史に興味をわき、「三富塾活動ボランティアの会」で活動するようになりました。ボランティアの活動はイベントだけではなく、会員のみんなで学習会を実施して三芳の歴史や伝統について学んでいます。三芳のことを学び、それを多くの人に伝える場があることが、この活動の魅力だと思います。これからも三富の地割や三芳の伝統・文化をずっと残していきたいですね。新規会員も募集しています。詳しくは歴史民俗資料館(☎258-6655)までお問い合わせください。

三富塾活動ボランティアの会
会長 山形 正晴さん



学んだことを
たくさんの人に
伝えたい!

みんなで集まって、民家。

かつて寺子屋として使われていた旧島田家住宅では、たくさんのイベントが開催され多くの人で賑わいます。古民家に集う人々の想いとは――。



カミトメマルシェ

地元の農家やお店が集まり、自慢の一品を販売。新鮮なみよし野菜や、かわいい雑貨などを求めて、広場が満員になる程の人でにぎわいます。

旧島田家住宅では こんなことやってます



ジュニア三富塾

子ども向けの郷土学習イベント。楽しみながら三芳の歴史・文化に触れることができます。大人向けの「茅葺民家塾」も開催しています。